

市民とつながる

議会だより いちのせき

No.76 2024.3.1

CONTENTS

12月通常会議

- 話し合ったことズームアップ（議案審議）… 4
- 一般質問 …………… 6

「巻頭特集」
「語ろう市議会 × いっすね」

NPO法人子育て支援

[特集2]

どう創る？まちの魅力 …………… 14
若い世代を対象に市民と議員の懇談会を開催しました



特集

五三〇ろ市議会 × いっすね

NPO法人子育て支援

「お子さん一人ひとりにしっかりと向き合い、寄り添う」—その考えの下、市内で児童^{*1}の発達支援や放課後等^{*2}デイサービスなどの事業を行い、支援が必要な子供の子育てをサポートしているNPO法人子育て支援いっすねの理事長・小野寺里子さん、笹谷事業所施設長・森由紀子さんに、いっすねの活動や市議会に期待することなどを聞きました。



森由紀子さん(62) MORI YUKIKO
一関市赤荻

NPO法人子育て支援いっすね笹谷事業所施設長
趣味はバドミントン。NSPの歌に登場する
河原が憧れ。

小野寺里子さん(73) ONODERA SATOKO
一関市宮下町

NPO法人子育て支援いっすね理事長
元一関市保育士。夢は新しい子育て支援施設
の建設。

——いっすね設立の経緯を教えてください。

小野寺理事長 以前は発達障がいという言葉がしゃべれない、知的な遅れがあるという感覚でしたが、そうではない子供の中にも、集団になじめないと教室を飛び出したり、人の話をさえぎってしゃべったり、落ち着きがない子供はたくさんいました。私が保育士のとき、研究会に参加してそうした子供への対応について勉強しました。平成17年に発達障害者支援法ができ、こうした子供も発達障がいの一部として認められたのですが、当時は一関にそういう子供を支援する場所がありませんでした。それなら私たちでやりましょうというので、平成24年にNPO法人を設立しました。いっすね

(ISSNE)は当時私が参加していた研究会「岩手県南スペシャルニーズエディケーション(Iwate South Special Needs Education)」の略称です。

——活動内容を教えてください。

森施設長 事業所は笹谷と宮下の2カ所で、子育て支援を中心に事業を行っています。笹谷事業所では、就学前の子供の発達支援と小学生から高校生までの放課後等デイサービスのほか、保育所等訪問支援も行っています。宮下事業所では日中一時預かりもしています。職員は両事業所とも7人体制です。



NPO法人子育て支援 いっすね



笹谷事業所
一関市赤荻字笹谷 28-1
☎ 0191(48)4646
✉ issne_sasaya@yahoo.co.jp



宮下事業所
一関市宮下町 6-20
☎ 0191(34)4151
✉ issne_miyashita@yahoo.co.jp



子育て相談を中心としながら、発達に心配のある子供の子育て相談や子育て支援も行い、子供とその家族、関係者などに対して、療育支援、生活支援、就労支援、情報提供や発達障がいについての理解・啓発などの活動を実施している。

支援が必要な子ども、その親も みんな笑顔になれるように

利用者は笹谷事業所が幼児47人、児童生徒44人、宮下事業所が児童生徒53人です。設立当時と比べ、利用者はかなり増加しています。

—— 子供を支えるために大切にしていることは。

森施設長 いっすねのコンセプトは「来るときは下を向いていても、帰るときにはみんな笑顔でさようなら」です。

小野寺理事長 何か失敗しても、それは仕方ないんだよと許してあげて。みんなで認め合う。親も子ども笑顔で帰れるようにしています。

森施設長 子供の行動にはそれぞれ理由があるわけで、そこを認めてあげれば子供たちは喜びます。自分の子供どう関わったらいいか悩まれている親御さんが多いですが「子供はこういうことが好きだよね」という概念ではなく、「この子は何が好

きなのかな」という目線で接すると楽しく遊べますよとアドバイスしています。

—— 今後の課題について教えてください。

森施設長 就職支援など将来にわたる支援体制が必要だと思います。そのためには各機関が切れ目なく

つながっていくことが大事です。令和4年度、一関市では「いちのせきサポートファイル（wish）」の運用を開始し、個人の情報を整理する冊子を作りました。個人の成長発達の経過、相談や支援内容の記録や情報を整理することで、生活の場面が変わっても、初めから説明し直さなくてもいいようになりました。

小野寺理事長 そうした記録作成は、私たちが10年以上前から言ってきたことで、ようやく成果につなが

りました。

—— 行政にはどのようなサポートを希望しますか。

小野寺理事長 3歳から小学校就学前までは、通所給付費が行政から支給され、児童発達支援などの利用者負担金は無償になっていますが、2歳以下は利用者の負担が発生しています。小さいうちに支援を受けやすくするように、ぜひ無償化してほしいですね。また、施設側の運営強化のために、通所給付費の支給額自体を上げてほしいですね。

—— 市議会に期待することを教えてください。

小野寺理事長 若い人たちが子育てについて相談しやすい環境の整備について、議論を深めていただきたいです。また、物価が上昇している中、子育て支援に係る施設の維持管理や職員の賃金改善に向けた財政支援などについて、現場の声を聞き、市当局に要請していただきたいです。



12月通常会議で話し合ったこと

令和5年定例会第107回12月通常会議
12月5～19日／会議期間15日間

ズームアップ

会議では報告3件のほか、議案52件を審議し、原案通り可決しました。

＞ 補正予算

- * 議案第 88号 令和5年度一般会計補正予算（第8号）
- * 議案第 89号 令和5年度一般会計補正予算（第9号）
- * 議案第128号 令和5年度一般会計補正予算（第10号）
- * 議案第 90号 令和5年度水道事業会計補正予算（第1号）



可決

低所得（非課税）世帯の支援として 1世帯当たり7万7,000円を給付

一般会計補正予算は、第8号で10億1,664万円、第9号で9,005万円、第10号で2億1,732万円をそれぞれ歳入歳出に追加し、予算総額を761億8,770万円としました。

主な内容として、第8号には物価高騰による負担増を踏まえ、住民税の非課税世帯（低所得世帯）に対し、1世帯当たり7万7,000円（市全体で10億1,085万円）の支援給付金の予算を追加しました。

第9号では、エネルギー価格の高騰に伴い、指定管理施設の管理者への支援交付金（5,161万円）を追加しました。

第10号では、職員給与の改定、期末手当の支給率の引き上げなどに伴い、給与費（2億1,732万円）を増額しました。

水道事業会計補正予算は、新本町配水池整備事業について、資材費の高騰などに伴い、事業費（継続費）の総額を4,400万円増額しました。

＞ 条例の改正

- * 議案第80号 市議会の議員報酬等条例の一部改正

可決

議員報酬を月5万円増額

市議会議員の月額報酬について、特別職報酬等審議会からの答申に基づき、令和6年4月から引き上げるものです。議長は49万9,000円、副議長は44万円、議員は1人当たり41万円となります。
※特別職報酬等審議会は民間の有識者などで構成。審議の結果、市民所得の上昇率などを踏まえ、1人当たり5万円の増額が適当との答申がありました。

- * 議案第77号 特別職職員給与条例の一部改正

令和5年11月に起きた職員の酒気帯び運転を受け、市政の最終責任者として市長の令和6年1月給料を10%削減するものです。

こんな疑問がありました

- Q. 住民税非課税世帯への支援給付金は、通常、最初に3万円、追加で今回の7万円、トータルで10万円である。当市でこれに7,000円を上乗せする根拠は。
- A. 暖房費として7,000円を追加して給付する。
- Q. 市民センターの指定管理者への支援交付金について、不足が生じた場合の追加交付、余った場合の返還はあるのか。
- A. 精算はなく、交付した額で対応していただく。

こんな疑問がありました

- Q. 報酬引き上げが議員の成り手確保になるのか。
- A. 報酬引き上げだけでは成り手は増えない。報酬だけではなく、もっといろいろな要因があるが、期待はしている。

その他の主な議案

* 議案第91～124号 指定管理者の指定

可決

40施設の指定管理者決まる

令和6年度から指定管理者制度に移行する摺沢市民センターや、渋民市民センターなど40施設の指定管理者を原案通り決定しました。

指定管理施設と管理者（新規のみ）

公共施設の名称	指定管理者となる団体	指定期間
摺沢市民センター	摺沢振興会	R6.4.1～R11.3.31
大東コミュニティセンター		
摺沢市民センター摺沢体育館		R6.4.1～R8.3.31
渋民市民センター	渋民振興会	R6.4.1～R11.3.31
真湯温泉センター	株式会社みらい	R6.4.1～R8.3.31



摺沢市民センター

こんな質疑がありました

Q. 摺沢市民センターは、JR摺沢駅舎と合築された施設だが、指定管理に当たった際の課題はないのか。

A. JRとの間で、保守管理の協定を交わしており、指定管理に移行した後も協定内容は引き継ぐので、課題はない。

Q. 真湯温泉センターの指定管理者を変更する理由は。

A. 現在の指定管理者からは、利用者の減少や管理経費の増加により令和6年3月までで指定管理の受託を終了する旨伝えられた。施設を継続して運営するため、新たな指定管理者を募集した。

請願

* 請願第2号 私学教育を充実・発展させるための請願

採択

私学助成をすすめる岩手の会から提出された私立高校への運営費補助を継続・拡充、過疎地域の私立高校に対する特別助成の増額などを求める内容の請願です。

意見書、決議

* 発委第5号 私学助成の充実を求める意見書（教育民生常任委員会提出）

可決

請願第2号の採択を受け、過疎地域の私立高校への特別助成を含めた私学助成の充実を求める意見書を国、県に提出することとしました。

* 発議第1号 パレスチナ自治区ガザ地区における即時かつ持続的な人道的休戦を求める決議

人道的休戦を求める国連総会決議の完全な履行を求めることについて、全会一致で決議しました。

* 発議第2号 政治資金規正法違反疑惑の徹底解明を求める意見書

政治資金パーティー券収入をめぐる問題の徹底解明を求める意見書を国に提出することとしました。

表決が分かれた案件

* 議案第78号 一般職の職員給与条例の一部改正

* 議案第80号 市議会の議員報酬等条例の一部改正

会派	清和会				一関みらい				輝郷会				日本共産党 一関市議団		公	無	決議結果										
氏名	佐藤浩	那須勇	佐々木久助	菅原行奈	門馬功	小山雄幸	千田恭平	沼倉憲二	千葉大作	佐藤幸淑	岩淵典仁	永澤由利	佐藤敬一郎	小野寺道雄	猪股晃	千葉信吉		千葉幸男	岡田もとみ	佐藤真由美	千葉栄生	齋藤禎弘	岩淵優	小岩寿一	武田ユキ子	勝浦伸行	
議案第78号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	議長	可決
議案第80号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	議長	可決

○=賛成 ×=反対 ※公=一関市議会公明党、無=無会派

第107回 12月通常会議

一般質問



那須 勇 議員
なす いさむ

妻の特製キムチ漬け

クマの被害状況と対応策

Q 近年クマによる被害が多くなってきている中、出没件数と被害件数、捕獲頭数は。また、冬期間の対策、民家やその周辺に出没が多いことから住民への周知方法について伺う。

A クマ出没の通報件数393件、農業被害81件、捕獲頭数85頭で、いずれも過去最多となっている。^{*1}鳥獣被害防止協力員を市内全域において年中迅速な対応が取れるよう配置しており、被害箇所へセンサーカメラを設置し、クマとの遭遇による被害の未然防止や捕獲用わなの設置場所の検討に役立っている。警察や猟友会など関係機関と情報共有を行うとともに、いちのせきメールやFMあすも、広報車での呼び掛けによりクマを寄せ付けないための取り組みを広く周知している。



捕獲されたクマ

その他のQ&A

- スポーツ活動の推進
- スポーツ施設の整備
- 東北規模のスポーツ大会誘致の考え
- 敬老事業の今後の取り組み



一般質問は12月7、8、14日の3日間で18人の議員が登壇し、活発な議論を展開しました。(文責は各議員)


登壇議員	ページ	登壇議員	ページ
那須 勇 議員	6	千葉 信吉 議員	9
永澤 由利 議員	7	小岩 寿一 議員	10
千葉 栄生 議員	7	佐藤 浩 議員	10
猪股 晃 議員	7	佐藤真由美 議員	10
岩淵 優 議員	8	小山 雄幸 議員	11
武田ユキ子 議員	8	佐藤 幸淑 議員	11
千田 恭平 議員	8	齋藤 禎弘 議員	11
岩淵 典仁 議員	9	菅原 行奈 議員	12
岡田もとみ 議員	9	千葉 大作 議員	12

議員の素顔をお見せします #ひとつこと } 今回のテーマは… #白ごはんのお供といえど?


傍聴席から

一般質問を傍聴した議会モニターからの意見(一部)を紹介します。


市側にただ聞くだけの質問ではなく、市側の答弁を予測した提案型の質問をしてほしい。




以前から問題視されていた質問の重複について、議員間の事前調整はなかったようですが、先に質問した議員が引き出した内容を受けて答弁の重複を回避しつつ議論を深められていたようです。



議員から「こんな質問をするよ」とPRすれば、議会に足を運ぶ人もいのではないかと考えます。



各議員の二次元コードをカメラ付き携帯電話で読み取ると、質問の様子をご覧になれます



***1 鳥獣被害防止協力員**
野生動物による農地などでの被害を防ぐために配置される専門家。

単語帳
用語のひとつこと解説コーナーです

猪股 晃 議員
いのまた あきら
納豆や焼き魚

骨寺村荘園遺跡と地域振興

Q 骨寺村荘園遺跡が^{*3}世界遺産「平泉の文化遺産」の拡張登録に向けた推薦資産から外れたことを受け、今後の本寺地区の地域づくりをどう進めていくのか伺う。

A 営農の継続や担い手確保への懸念、骨寺村荘園交流館などの施設の管理運営への不安の声があり、今後地元で、持続可能な地域づくりに向けた計画を策定する予定とのことから、市も一緒に考えていくこととしている。また、本寺の農村景観を守り、伝統的な水田農業を後世に伝えるための営農のあり方など、地元の方々と一緒にその課題解決に向けて話し合いを進めていきたい。



骨寺荘園米の中尊寺への米納め

その他のQ&A

- 中山間地域等直接支払交付金の満額交付に対する取り組み
- 健康こども部創設による効果



千葉栄生 議員
ちば えいせい
ワサビふりかけ

若者定住化推進策

Q 市民と議員の懇談会で、参加した高校生から、大学や専門学校で学ぶためには地元から離れなくてはならないと意見があった。市ではTGTeenなどのファッション系イベントを行っているが、開催だけで終わらせるのではなく、例えばファッションやデザインなどの知識や技術を学べる場を確保し、若者の流出を防ぐ必要があると考えるが、大学や専門学校の誘致に向けた検討をしているのか伺う。

A 現時点でそのような話は届いていない。仮に市内に立地したいという相談があれば検討を進めたい。



市民と議員の懇談会

Q 公的施設に妊婦や子育て（お子さんを連れた方）専用の駐車エリアを設置する考えはないか伺う。

A 車椅子専用駐車エリアを子育ての方も利用可能としたい。

その他のQ&A

- 公務労働の充実



永澤由利 議員
ながさわ ゆり
卵かけごはん

台湾訪問の成果と課題

Q 台湾訪問の目的、成果は。市の課題の人口減少に対応できる工業団地整備計画も伺う。

A 目的は台湾から一関へのインバウンド（訪日外国人旅行者）の増加、誘客と当市への企業誘致の働き掛けであり、成果は台北デジタルグループと一関市内への立地についての合意書を締結した。工業団地の整備は、一関第二工業団地の拡張工事は終了し現在分譲の準備を進めている。新たに萩荘地内に分譲面積約10ヘクタール規模で産業用地の計画をしている。

Q ^{*2}母性健康管理の環境整備について、事業所で女性が働きながら安心して妊娠、出産できる職場づくりは。

A 男女雇用機会均等法により義務付けられており、今後市広報などで周知していく。



その他のQ&A

- 雇用の確保対策
- 女性活躍会議からの新規施策
- 非正規雇用の処遇改善
- 一関高専の学生による認知症予防の取り組みとの連携



*3 世界遺産「平泉の文化遺産」拡張登録

「平泉」の世界遺産登録後、関連する5資産も登録を目指して調査や研究が進められ、柳之御所遺跡（平泉町）が推薦されることになった。

*2 母性健康管理

妊娠中や出産後の女性労働者に対して、労働環境の改善や健康管理の支援を行うこと。産前産後休業、妊娠中の業務制限、搾乳室の設置など。



千田恭平 議員
ちだ きょうへい

自家製ぬか漬けと納豆

NEC跡地の進捗状況は

Q NEC跡地活用の進捗状況は。跡地に新工業高校立地の可能性は。

A 令和5年度末をめどに、土地の管理運営を行う法人を設立し、令和8年度に土地の引き渡しを受けた後、エリア開発に着手できるよう進める。

土地活用計画にコンサルのみでなく、市が主体となって情報収集を行う時間が必要であることから、管理運営法人の設立時期の見直しも含め検討している。「跡地に工業高校を」との市民意見があることは承知している。現在、岩手県教育委員会において候補地の検討が進められているので、その動向を注視していく。



工事が進むNEC跡地

その他のQ&A

- 特別教室のエアコン設置
- 学校給食費の負担軽減
- ILCの現状認識
- 定住交流人口増加への取り組み



武田ユキ子 議員
たけだ ゆきこ

わが家自慢の梅干し

*4 公共施設の見直し

Q 施設保有の見直し方針で、市女性センターは令和6年度末をもって廃止としている。施設の老朽化が著しい半面、利用者数は年間1万人以上で推移しており、代替施設は必要不可欠である。市長は東口の開発に合わせて活動場所も含めた公共施設整備を検討されると確信するが、当面の間、文化センター2階の空きスペースを活用できないか伺う。

A 利用団体の代表者や講師に対し、廃止時期、新たな活動場所の紹介、登録方法、施設見学会等々相談に応じている。現在活動場所については、調整中であり、議員から紹介の一関文化センター遊休部屋も検討する一つになると考えている。



惜しまれつつ廃止となる一関女性センター

その他のQ&A

- 財政運営の健全化
- 職員と組織の最適化
- 事務事業の見直し



岩淵 優 議員
いわぶち まさる

キムチ、納豆、イカの塩辛

子供連れ優先の駐車場

Q 小さな子供を連れて公共施設に行った時、建物の出入り口の近くに専用の駐車スペースがあると助かるとの声がある。公共施設に子供連れ優先の駐車スペースを設置する考えはないか伺う。

A 市の庁舎などの施設では、従来から配慮の必要な方には車椅子用の駐車区画の利用を可としてきたが、周知が不足していた。妊産婦や子供連れの方が公共施設の駐車場を利用する時に、優先駐車場であることがすぐに分かるような案内表示を設置する。



子供連れ優先駐車場の表示板

その他のQ&A

- 不登校支援
- スクールバス
- 災害時の対策
- 帯状疱疹予防接種助成事業



*4 公共施設の見直し

持続可能な運営やサービス向上のために行う公共施設の再評価や改善。市は平成29年に公共施設等総合管理計画を策定し見直しを進めている。

二次元コードを読み取ると、各議員の一般質問の様子をご覧いただけます！



千葉信吉 議員
ちば のぶよし
筋子、のりつくだ煮

高齢化に向けた取り組みは

Q DX（デジタルトランスフォーメーション）事業の推進に併せ、高齢者向けのスマホ教室が必要と考える。高齢者へのスマートフォン対策の取り組みについての考えは。

A これまでは、高齢者などでスマートフォンを持っているものの使いこなせていない方を対象に、受講者が市民センターなどに出向いて講座を受ける形の集合型のスマートフォン教室を開催してきた。本年度は新たに、文部科学省の情報通信技術講習事業費補助金を活用し、受講者の自宅などに出向いて講座を行う、**出前型スマートフォン教室**を実施している。一関高専の学生が講師となり受講生一人一人の悩みに合わせ注意すべき使用方法、操作方法など講座内容を変えて対応している。

市も情報発信にスマホアプリを活用している



その他のQ&A

- 道路側溝等機能改善、整備を



岡田もとみ 議員
おかだ もとみ
岩手前沢牛肉みそ

放課後児童クラブの充実

Q コロナ禍でも放課後児童クラブは働く父母を支えるために開所し続け、社会的役割の重要性が改めて浮き彫りになった。支援員の雇用、配置の現状は。

A 21施設43単位に支援員119人、補助員71人が従事している。

Q 放課後児童クラブの運営に関して、市の関わりは。

A 本年度から各施設への立ち入り調査を始めた。3年間で全ての施設の調査を終える計画としている。

Q 支援員の専門性について、施設同士の交流会、研修会の検討は。

A 運営の皆さんが望まれるような形の研修会なども企画していきたい。



小学生の放課後を守る放課後児童クラブ

その他のQ&A

- 就学援助事業の拡充
- 学校施設の充実
- 読書普及員の処遇改善



岩淵典仁 議員
いわぶち のりひさ
まんしょうつけ むろねの糺笑漬

室根神社特別大祭

Q **室根神社特別大祭**のマツリバ行事は、昭和60年に国の重要無形民俗文化財に指定され、平成30年には勸請1300年の記念大祭を実施した。近年、人口減少と少子高齢化により、後継者不足、**神役継承の難しさ**、開催経費捻出の難しさなど、祭りを継続していくことが困難な状況にある。室根神社特別大祭の現状と課題は。

A 室根神社特別大祭は、令和6年10月に開催予定である。室根神社祭保存会や室根大祭協賛会において、神役の継承が途絶えてしまうことに対する対策が重要な課題であり、神役のそれぞれの役割について聞き取りなども含めた調査を行い「神役の歴史と伝承」という冊子にまとめた。



10月に開催予定の室根神社特別大祭

その他のQ&A

- 室根神社特別大祭と都市間交流
- 生活用水確保支援事業の成果と課題
- 水道未普及地域への今後の支援方針



*6 出前型スマートフォン教室

市内の高齢者らを対象にした無料の教室。学生起業家Next IWATEが講師となり、受講者の自宅など希望する場所でスマホの使い方を教える。

*5 室根神社特別大祭

熊野神勸請の故事になぞらえ、旧暦うるう年の翌年に行われる東北名代の荒祭り。コロナ禍の影響で、今秋の通常開催は平成30年以来となる。



佐藤真由美 議員
さとう まゆみ

弁慶のほろほろ漬

地域医療の充実を

Q 市内では病院の閉鎖や形態の変更が予定されており、市民から心配の声がある。市内の病院の状況について伺う。

A 医療機関の診療科が地域住民の命と健康を守るためには十分だとは言えない状況だと認識している。

Q どこに住んでいても医療サービスが安定的に確保される必要がある。地元選出県議が県立病院の集約が必要と考える、と発言しているが市長の考えを伺う。

A 医師不足や高齢化、人口減少による患者数の減少など医療体制の維持が年々厳しい状況になっていく。県立病院は中心的な役割を担っている。今後も県立病院の医療提供体制の維持・充実を図っていただきたいと考える。



地域医療の基幹となる県立磐井病院

その他のQ&A

- 中小事業者支援強化
- 農業政策について



佐藤 浩 議員
さとう ひろし

生卵

骨寺村荘園遺跡の今後は

Q 世界遺産「平泉の文化遺産」拡張登録に至らなかったことを踏まえ、本寺の農村景観保護の施策を積極的に展開すべきでは。

A 今後の本寺景観の保護や支援について、拡張登録への取り組みが一区切りとなったことから、文化財重視とするのか農業生産営農を重視するのか、地元の意向を尊重しながら、市の部局横断的、全庁的な対応が必要と考える。また現在、文化観光拠点施設を中核とした文化観光推進の地域計画が県を中心に策定中であり、骨寺村荘園遺跡の文化資源を生かした地域振興に期待している。



骨寺村荘園 お田植体験交流会

その他のQ&A

- 老人クラブの支援
- 市立小中学校体育館の開放事業
- 市立小中学校創立記念事業への支援



小岩寿一 議員
こいわ ひさかず

刻みネギ入り納豆

キャッチアップ接種の周知

Q ^{*7} HPVワクチンキャッチアップ接種の対象者が公費で接種できるのは令和6年度が最終年度になるが、未接種者への周知は。

A 未接種者には個別に通知する予定。内容は、公費で接種できる期限、ワクチンの種類や接種の回数、接種完了までに要する期間、接種できる医療機関としてワクチンの効果などを予定している。3回の接種が完了するまで少なくとも6カ月を要するので、時期については令和6年7月までには知らせる予定。令和4年度の対象者は平成9年度から平成17年度までに生まれた女子で、対象者3,199人のうち接種完了者は766人だった。令和5年度におけるキャッチアップ接種の対象者は令和5年4月1日現在で2,791人となっている。



HPVワクチンで子宮頸がんを予防

その他のQ&A

- HPVワクチンの男性への接種費用助成について



*7 HPVワクチンキャッチアップ接種

積極的な勧奨の差し控えにより、接種機会を逃した人を対象に行っているHPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンの予防接種。

二次元コードを読み取ると、各議員の一般質問の様子をご覧になれます！



齋藤 禎弘 議員
さいとう よしひろ



みそ汁

有機農産物を学校給食へ

Q ^{*9} 有機農産物を適正な価格で市が買い上げ、学校給食に使用するべきではないか。

A 令和4年度は有機米を2回提供した。これは一関地方有機農業推進協議会から通常の精米と同じ価格で提供するとの申し出があり実現した。全て有機米にした場合、米代がおよそ2倍になり、差額を市で負担するのは難しい。

Q 千葉県いすみ市が実施している、子供たちにも健康にもいい有機栽培の米と、7品目の野菜を通年で学校給食に提供している事例を紹介し、有機農業の普及拡大と食育の観点から市でも適正価格で買い入れ、ぜひ取り組むべきではないか。

A 日常的な使用は、価格面から難しいと考えている。



実際に提供された学校給食

その他のQ&A

- 再生可能エネルギーについて
- NECプラットフォームズ株式会社一関事業所跡地について



佐藤 幸淑 議員
さとう ゆきとし



納豆

フッ化物洗口について

Q ^{*8} 市として子供へのフッ化物洗口を導入していない理由を伺う。フッ化物洗口の安全性については問題ないものと同じである。岩手県の推進もあり多くの自治体で導入しており、平泉町では昭和59年から実施している。子供たちの健康格差にもつながる心配もあるが見解は。

A 洗口液の安全性は認識しているが、身体に及ぼす影響を不安視する声もあることから、保護者に十分な説明を行い、理解と同意を得る必要があること。市全体の児童を対象に実施するには私立の教育・保育施設の協力を頂く必要があること。薬剤の保管方法や洗口液の調整、洗口の実施手法の検討、職員の研修が必要であることなどの理由から、教育・保育施設における実施には至っていない。今後、最新の情報や他市町村における実施状況などを注視していきたい。



歯の健康は生涯の宝物

その他のQ&A

- 働き方改革に伴う市営バス運営



小山 雄幸 議員
おやま ゆうこう

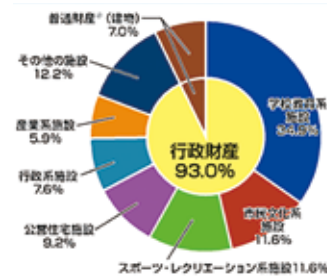


むろね賛笑漬ピリ辛

公共施設等総合管理計画

Q 行政財産の建物系施設の延べ床面積を3割削減することを目標に平成29年に策定、10年ごとの中期計画を策定し、進行管理を行うこととしているが第1期中期計画の取り組み状況は。

A 第1期中期計画では平成30年度から令和8年度までの9年間で建物系施設の延べ床面積を1割削減することを目標としており、令和4年度末における建物の延べ床面積は67万8,204㎡で、計画策定時点の延べ床面積71万2,398㎡に比べて3万4,194㎡減少している。期間中の削減目標であるおおむね1割に相当する7万1,837㎡に対し、47.6%の進捗状況となっている。



建物系施設の延べ床面積割合

その他のQ&A

- 人口減少と少子化対策



*9 有機農産物

化学肥料や農薬を用いずに生産された農産物。第三者機関が検査し、認証された事業者は「有機JASマーク」が使用できる。

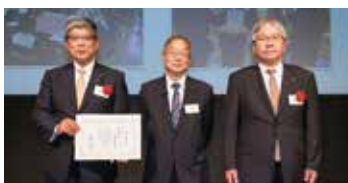
*8 フッ化物洗口

フッ素を含む液体で口をすすぐこと。歯を強化したり虫歯菌の働きを弱めたりする効果があるとされる。

一関市議会短信

マニフェスト大賞で優秀・躍進賞を受賞

国内最大の政策コンテスト「第18回マニフェスト大賞」(同実行委主催)で、一関市議会が優秀・躍進賞に選ばれました。マニフェスト大賞は、地方自治体の首長や議会、市民らによる地域の民主主義向上に資する優れた取り組みを表彰するもので、今回は全国から3,088件の応募があり、40件が入賞しました。一関市議会については、議会だよりのリニューアルや議会モニター制度の導入、岩手大学との連携といった議会改革の取り組みが評価されました。



常任委員会の委員構成が変りました

一関市議会では、議会運営委員会、常任委員会の委員任期を2年と定めています。令和3年10月の改選から2年が経過した昨年10月18日、委員会条例の規定に基づき、議長の指名により各委員会の委員構成を変更しました。各委員会の正副委員長は11月臨時会議で紹介しました。委員名簿は一関市議会ホームページをご覧ください。

「議会運営委員会」は何をする委員会？



議会をスムーズに運営するため、会期や日程、進行手順などを話し合ったり、議会に関するルールを話し合ったりしています。議会改革の取り組みについてもこの委員会で協議しています。



単語帳

*10 農業振興地域

市町村が将来的に農業に利用すべき土地として指定した区域。農地以外での利用が制限されている。

千葉大作 議員
ちば だいさく
ししまも

農振地域外の水路整備は

Q *10 農業振興地域内の水路整備は、多面的機能支払制度や中山間地域等直接支払制度の交付金を活用する方法であり、県営事業として行っている経営体育成基盤整備や中山間地域総合整備事業は、農家負担は極めて少ない。だが、農振地域外の水路整備は市の小規模基盤整備事業として事業費の2分の1補助で対応している。これは著しく不公平な補助割合である。今、現場では高齢化が進み、土水路側溝の泥上げ、草刈り作業は大変厳しい。ぜひ市の小規模基盤整備事業の補助率を国、県と同等に引き上げるべきと思うが。

A 平泉町の補助率と同率の50%を市の補助率としており、今後も現行でいきたい。



農振地域外の水路

その他のQ&A

- 市内の児童クラブの運営について



菅原行奈 議員
すがわら あんな
錦松梅、小岩井バター

保護犬、保護猫への支援

Q 令和4年度の犬猫の捕獲・引き取り等実績表によると、県内10の保健所管轄区域中、一関は犬の捕獲・引き取り・返還頭数で最多、譲渡頭数・咬傷事故数で2番目、猫の引き取り・譲渡頭数は4番目、殺処分頭数は6番目である。犬に関する苦情件数は県内381件中117件で最多。猫の苦情件数も県内543件中、150件で最多である。また、飼い主がいなくなった後の多頭飼育崩壊が問題となっている当市の状況をどのように捉えているか。

A 本来、動物の愛護、管理に関しては、県の所管事務であるが、時代の変化や、他の自治体の取り組みとの比較検討、当市のポジション(状況)などを踏まえ、やれることを考える。

Q TNR活動(地域猫活動)についてどのように考えるか。

A 大変有効な活動だと認識している。

TNR活動をお知らせするイラスト
Illustration showing TNR activities: 捕獲して (Capture), 手術や避妊 (Surgery/Spay/Neuter), 活動場所に返す (Return to activity area)

その他のQ&A

- 飼い主責任の啓発
殺処分と譲渡の考え方





令和5年定例会
第106回11月臨時会議

ダイジェスト

令和5年定例会第106回11月臨時会議を11月17日に開催しました。報告3件のほか、議案2件を審議し、原案通り可決しました。

> 補正予算

* 議案第75号 令和5年度一般会計補正予算（第7号）

11月臨時
会議 ▶



可決 TGC teen予算に1億970万円追加

（仮称）TGC teen一関推進委員会負担金を追加（1億970万円）、生活用水確保支援事業費を増額（9,475万円）、8月18日から20日にかけて発生した豪雨で被災した農林業施設、農地、公共土木施設の各災害復旧費を増額（4億7,269万円）するための補正予算を可決しました。

こんな質疑がありました

Q. TGC teenの現段階での概要は。

A. 前回開催したイベントと同程度と考えているが、推進委員会を立ち上げて意見を聞き、企画運営団体と調整する。

> その他の議案

* 議案第76号 中里市民センター建設（建築）工事の請負契約の締結

一関市山目町地内に新築する中里市民センターについて、建設（建築）工事の請負契約を可決しました。契約額は3億745万円。地震で被災したため建て替えを進めており、令和6年度完成見込みです。

可決



令和6年定例会
第108回1月招集会議

ダイジェスト

令和6年定例会第108回1月招集会議を1月5日に開催しました。令和6年定例会の会期を12月27日までの358日間と決めたほか、議案2件を審議し、原案通り可決しました。

> 補正予算

* 議案第1号 令和5年度一般会計補正予算（第11号）

1月招集
会議 ▶



可決 中小企業者への緊急支援金として8,400万円を追加補正

エネルギー価格の高騰に伴う支援策として、交付金を交付するための予算を計上しました。

- ・ 中小企業者等事業継続緊急支援交付金（8,400万円）
- ・ 高齢者施設物価高騰対策支援交付金（3,030万円）
- ・ 障がい福祉施設物価高騰対策支援交付金（1,090万円）
- ・ 産地基幹施設物価高騰対策支援交付金（760万円）

* 議案第2号 令和5年度市営バス事業特別会計補正予算（第1号）

市営バス一関花泉線（新設）の運行を令和6年4月1日から開始するに当たり、令和5年度内に運行管理業務等委託契約を進めるため、債務負担行為を設定しました。

* 債務負担行為…複数年にわたる契約などの場合に、翌年度以降の財政支出を前もって決めておくこと。

❖ 議長あいさつ ❖

「議会改革の取り組みを進める」
物価の高騰、地域経済の回復や少子高齢化、人口減少に起因するさまざまな課題などへの対応が求められております。当市議会といたしましても、市民の皆さまが安心して豊かな日常生活を送れますよう、引き続き議論を重ねてまいります。議会改革の歩みを止めることなく、信頼される、開かれた議会を目指し、一丸となつてまい進してまいります。



まちの魅力



市民と議員の懇談会を開催しました



意見は主なものだけで900件以上

懇談会での主な意見などは議員で取りまとめ、議会のホームページに掲載しています。件数は主なものだけで900件以上になります。内容については今後調査、検討し、必要に応じて市長らへ提言を行う予定です。



- ① ② 参加者は意見を模造紙に書き出し、互いに情報を共有
- ③ 懇談会終了後には記念撮影し、和やかに交流

多く寄せられた意見

参加者からは、さまざまな分野へ多岐にわたる発言がありました。多く寄せられた意見は次の通りです。

若者向けの商業施設や娯楽施設の誘致、設置を進めてほしい。

バスや鉄道の便を増やし、移動しやすい環境をつくる必要がある。

一ノ関駅周辺に若者が集える場所を確保し、にぎわいあるエリアとして整備してほしい。

通学路の安全対策のため、街路灯、防犯灯の整備が必要ではないか。

課題とアイデア 若者の声を聞く

令和5年度市民と議員の懇談会は、7月18日を皮切りに11月20日まで市内の高校や短大、若者団体を対象に12会場で実施し、合わせて159人に参加していただきました。懇談会は、市民に開かれた議会を目指し、議会情報の発信と市民と議員の多様な意見交換の場として毎年開催しています。今年度は若い世代を対象に、議会に対する興味・関心を高め、多様な人材の参画を促すとともに、投票率向上への機運醸成を図ることを目的に実施しました。



メインテーマは「まちの未来、夢や希望について語ろう」。市のまちづくり、魅力づくりのアイデア、解決が必要なまちの課題と対策のアイデアについて意見を出し合いました。

懇談会は、できるだけ多くの参加者から発言していただけるよう、小グループに分かれて話し合うワークショップ形式を採用。議員がグループの進行役となり、参加者の声を聞きました。各グループで出された意見は議員が模造紙にまとめ、最後に発表して会場全体で共有しました。

若者の生の声を生かせ 常任委が調査、検討へ

議会では、今回頂いた意見などの内容を取りまとめ、所管する常任委員会へ調査、検討を進めます。調査の結果、市当局に提言する必要がある事項については、直接市長に提言書を提出する予定です。

懇談会での意見などは、市議会のホームページに掲載しています。





開催日	懇談対象団体名	参加人数
7/18(火)	一関価値創造若者協議会	20人
10/2(月)	一関学院高等学校	16人
10/5(木)	修紅短期大学	15人
10/6(金)	一関修紅高等学校	12人
10/16(月)	一関第一高等学校	17人
10/17(火)	一関第二高等学校	21人
10/20(金)	千厩高等学校	7人
10/23(月)	一関商工会議所青年部	11人
10/26(木)	大東高等学校	9人
10/26(木)	一関青年会議所	7人
11/16(木)	一関工業高等専門学校	11人
11/20(月)	花泉高等学校	13人

全 12 団体 159 人

若い世代が活躍できる一関へ

今回の懇談会は、若い世代の率直な考えに触れる貴重な機会になりました。熱意ある若い世代が活躍できるステージの構築に向け、広聴広報委員会としても取り組みを進めていきたいと思えます。



門馬功 広聴広報委員長

高校生ら
159人と
意見交換!



どっ創る?

» 若い世代を対象に

若者の支援事業や若者の定住施策などを企画立案するときは、しっかりと若者の声を聞いてから取り組んでほしい。

希望する職種がなく、職業選択ができない。職種を増やす取り組みが必要である。

起業家の育成と支援を行い、「若者が挑戦できるまち」にしてほしい。

増加している空き家の活用、取り壊しなどをさらに進めるべきだ。

大学など学ぶ場の誘致に取り組んでほしい。

市のPR、情報発信が不足している。若者をコンテンツ制作に引き込んでどうか。

市民の

声

日々の暮らしで思うこと
まちづくりに期待することなど
市民の声を聞きました



がんづき作ってける大会

さ さ き けんいち
佐々木謙一さん (千厩町千厩)

ないものねだりをしたところで、ないものはない。そうであれば今あるものを活用し、できることをやればよいと思います。子供の頃、友達の家に遊びに行くと、おやつで「がんづき」をごちそうになりました。このまちの大先輩が作るわが家自慢のがんづきを食べ比べる大会を開催してみたいです。がんづきは、きっと今の子供たちのハートもわしづかみにします。大会には市長や議長も招き、地元千厩のプレスリーバンドにも盛り上げてもらったり…。こういった大会が何の心配もなく開催できるまちづくりに期待するとともに、豊かで平和な日常に感謝したいと思います。



仕事と子育ての両立

ちば
千葉りおさん (室根町折壁)

私は中学2年と小学5、4、2年の4人を育てる母です。令和2年4月にエステサロンをオープンしました。当時はコロナ禍でお客さまとの距離感や衛生面などで苦戦しましたが、少しずつご縁に恵まれるようになりました。起業したことでお客さまに喜んでいただける仕事のやりがいが増し、地元で子育てをしながら働けるメリットも実感しています。ただ、子供たちは小学校の統合前はスクールバス通学でしたが、今は徒歩。獣などとの遭遇や安全面が心配です。街路灯などを増やしていただければ、もっと子育てしやすい室根になると思います。



いとういさおけんしょうひ 伊藤勇雄顕彰碑

川崎町薄衣 川崎農山村広場



あんなとこ

こなとこ

伊藤勇雄（1898～1975年）は川崎町薄衣に生まれ、武者小路実篤との出会いから、22歳で宮崎県の「新しき村」に入植したことが契機となり詩を書き始め、26歳で詩集「名乗り出る者」を出版。その後、県議や県教育委員長などの要職を歴任し、終戦後の48歳の時に矢巾町、54歳で盛岡市藪川に移り住みました。さらに新天地を求め、家族と共に南米パラグアイに69歳で移住。76歳の時に訪問先のブラジルで病気のため亡くなりました。

伊藤勇雄の生誕100年祭実行委員会を母体として平成10年に顕彰会が設立され、平成15年に顕彰碑を北上川堤防上の川崎農山村広場に建立し、令和5年3月には矢巾町にあった墓碑銘を顕彰碑の隣に移設。偉大な郷土の先人の業績を今に伝えています。



2月通常会議を開催中です。
～3/14(日)まで(予定)

会議日程はホームページをご覧ください。詳しくは議会事務局（☎②18604）までお問い合わせください。

議会を傍聴してみませんか

実際に議場に足を運んで、生の議会をご覧になってみませんか。お気軽にお越しください。

インターネットで生中継

議会（本会議）の様をライブ配信しています。議会のホームページからアクセスしてください。

一関市議会



今号の

COVER

せんまやひなまつり

千厩町に春を告げる「せんまやひなまつり」。色鮮やかなひな人形やつるし飾りなどが商店街のあちらこちらに飾られ、まち一帯が華やかな雰囲気になります。

イラストレーター：有華（市内在住）



編集後記

令和6年初めての発行となった議会だより第76号。内容を大幅にリニューアルしてから3回目。毎号、編集に関する委員会ではさまざまな意見が出ます。特に特集記事のテーマ選定は、議論白熱。今年も市民の皆さまに市議会の活動内容が伝わり、「なるほど、よく分かった!」と言っていただける紙面の編集に取り組みます。そのためにも常に妥協せず、マンネリにならず、新鮮な気持ちを心掛けてまいりますので、どうかよろしくお願いたします。(副委員長 岩淵優)

広聴広報
委員会

[委員長] 門馬 功 [副委員長] 岩淵 優
[委員] 那須 勇 佐藤真由美 菅原 行奈
佐藤 幸淑 永澤 由利 猪股 晃